

2009清里ミーティング 環境教育プレゼンテーション



小学校の総合的な学習での 森林環境教育



東京農工大学農学部

小平斐美、辻沙季子、佐藤敬一

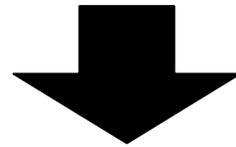


背景・目的

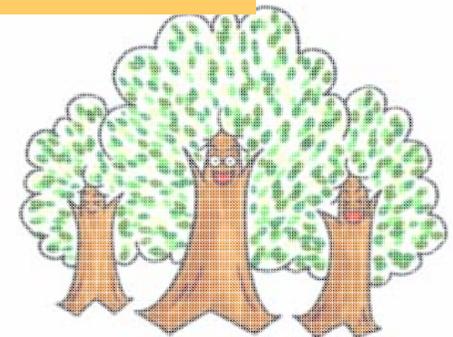
日本の森林荒廃の解決のために**国産材の利用促進**や**林業振興**が求められる。そのためには、**市民の意識改革**が必要。



林業・木材利用について関心をもつこと
生活の中で自分のできることを考え行動すること



森林環境教育プログラムを開発・実施



対象

稲城市立長峰小学校 5年生(2クラス 78名)

多摩市立東落合小学校 3年生(2クラス 66名)

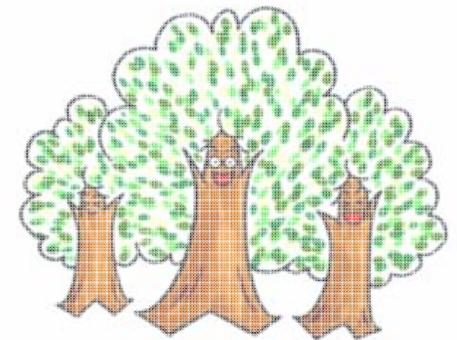
- ・団地(多摩ニュータウン)の中に設立された小学校
- ・長峰小は学校林があるが利用度が低い
- ・東落合小は、樹木のある公園が隣接しているが、利用は少ない
- ・高学年で野外体験学習がある
- ・総合的な学習の時間のテーマ・・・「環境」
- ・学校側の受け入れ、協力がある



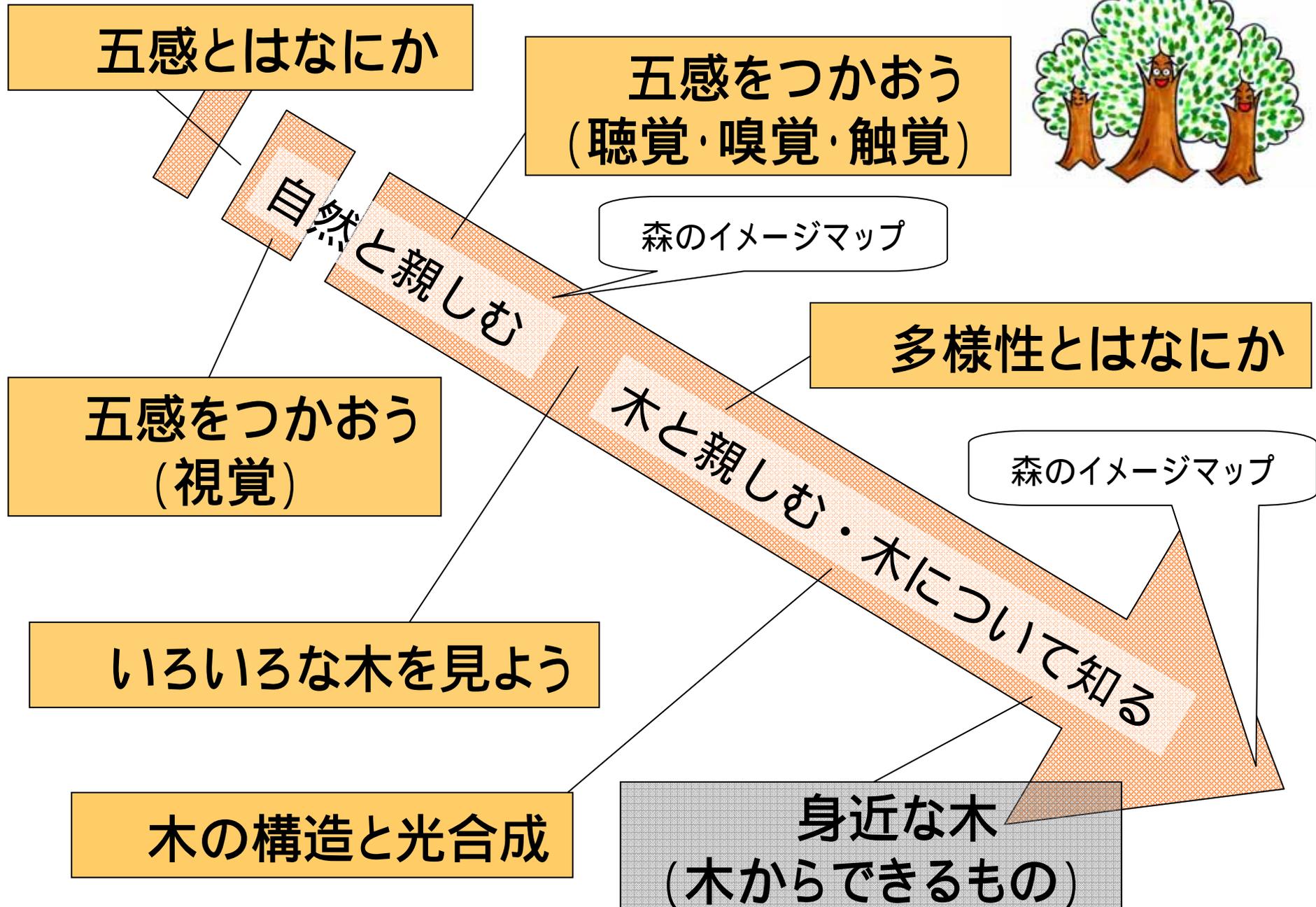
・総合的な学習の時間の一部を使って学生主体で授業を実施
(各回1時間半 - 2コマ)

・内容・スケジュールは学校側との話し合いにより決定

多摩市立東落合小学校3年生における 森林環境教育プログラムの実施

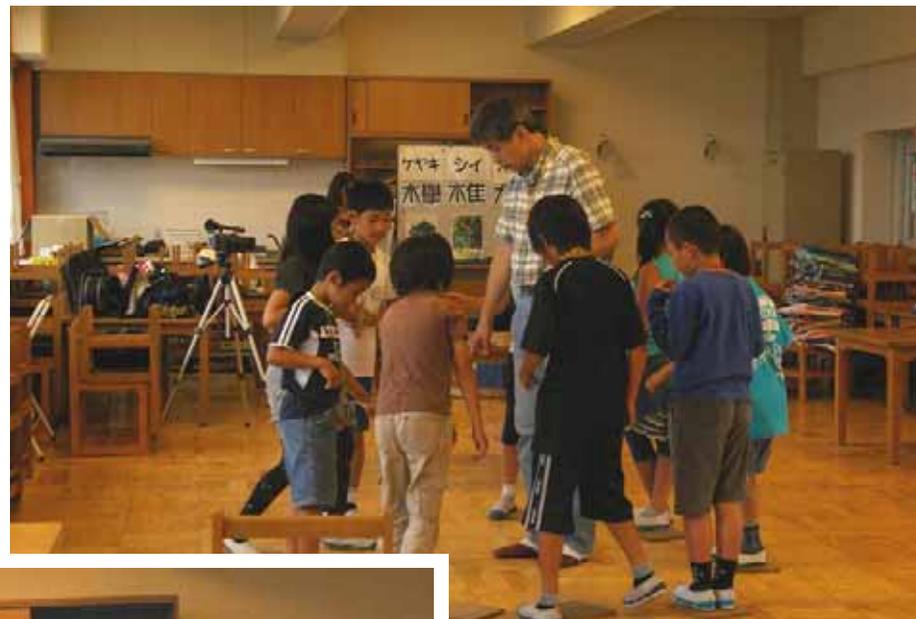


東落合小学校(3年生)のねらい達成のためのイメージ



第1回プログラム(2009年7月2日)

五感とはなにか・・・アイスブレイク、木で名札づくり



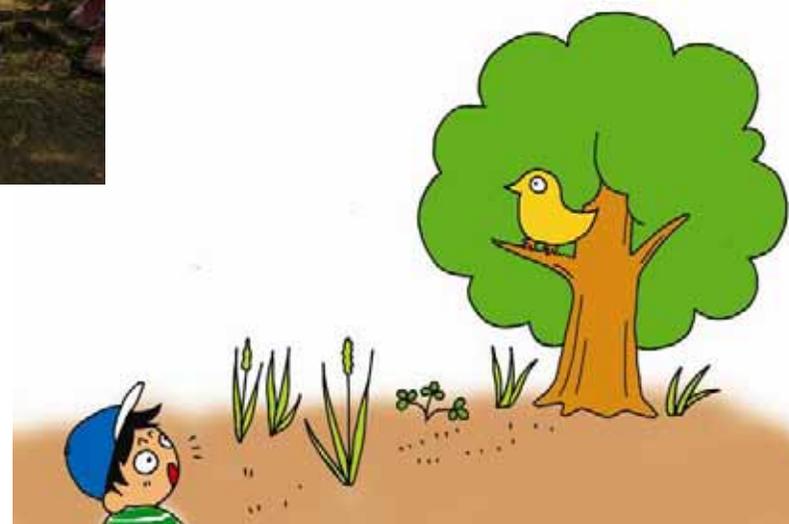
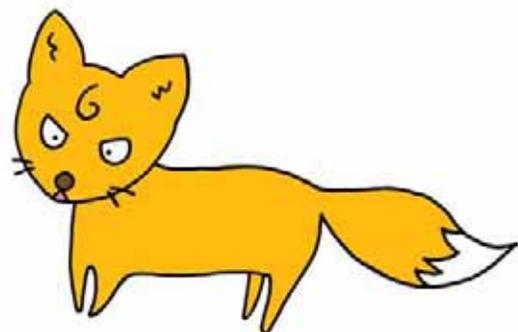
第2回プログラム (2009年9月10日)

五感をつかおう・・・対戦型カモフラージュ



第3回プログラム (2009年9月17日)

五感をつかおう・・・バードコールハイク、ブラインドウォーク、
目かくしイモムシ



第3回プログラム (2009年9月17日)

五感をつかおう・・・バードコールハイク、ブラインドウォーク、
目かくしイモムシ



第3回プログラム後に実施した「森のイメージマップ」

「森」というキーワードから思いうかぶことはなんでしょう？

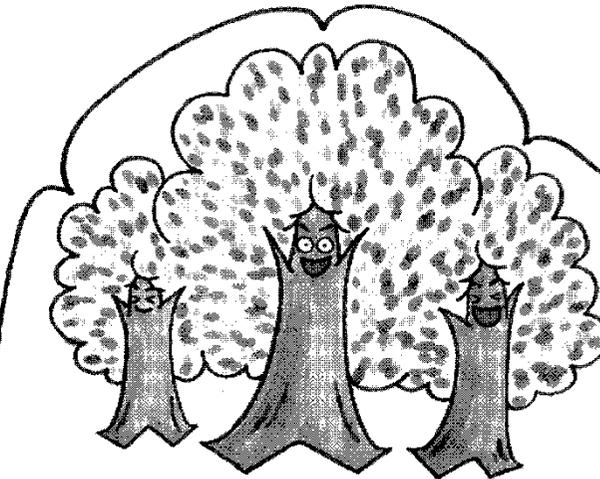
2009年 月 日 年 組 名前

も り

木
森

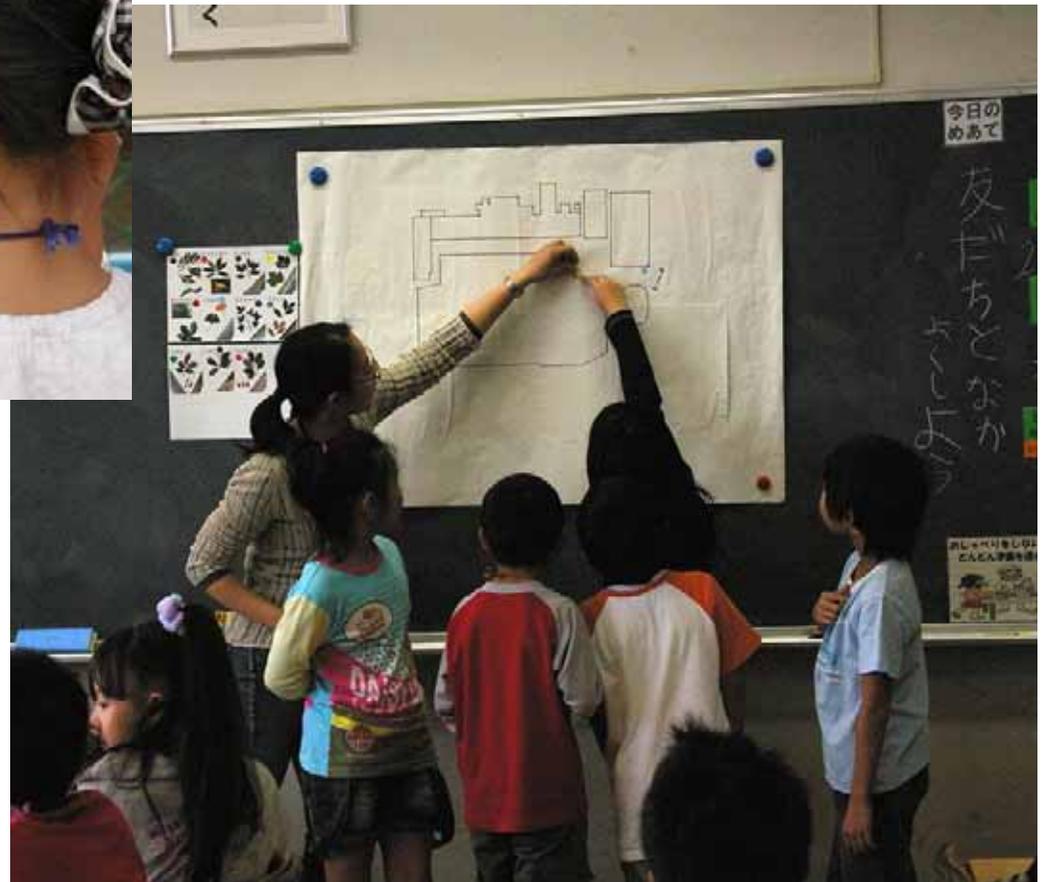
といったら？

がしていることってなんだろう？



第4回プログラム (2009年10月22日)

いろいろな木をみよう・・・木さがし



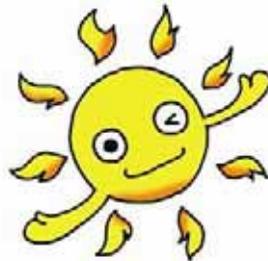
第5回プログラム (2009年10月29日)

多様性とはなにか・・・物語「トガチュウの森」、多様性に満ちた惑星



第6回プログラム (2009年11月12日)

木の構造と光合成・・・木は工場、光合成とは



稲城市立長峰小学校5年生における 森林環境教育プログラムの実施

長峰小学校(5年生)のねらい達成のイメージ

五感を使おう

自然と親しむ

草と木の違いは？
光合成ってなに？

木に親しむ・触れる

森のイメージマップ

自然にふれよう

木の炭素量を測ろう

木の多様性を知ろう

木の有用性を知る

みんなに
伝えよう

地球温暖化と
木材利用・林業の関わり

森のイメージマップ

第1回(2009年6月4日)

五感を使おう・・・バードコール作り・対戦型カモフラージュ



自然にふれよう・・・Each One Teach One・バードコールハイク

PA(Project Adventure)・年輪をつくる



第3回(2009年7月9日)

草と木の違いは？ 光合成ってなに？・・・クイズ・光合成ゲーム



第4回(2009年9月3日) 木の多様性を知ろう…子ども樹木博士



第5回(2009年10月15日)

木の炭素量を測ろう・・・木の身体測定・炭素量計算



これからの課題

- ・科学的研究としてまとめられるのかどうか。
- ・プログラム実施による効果は感じられるが、ねらいがどこまで達成されているのか。
- ・効果を客観視するためにはどのような方法があるのか。
 - ・・・評価方法を考える(統計、その他)
- ・プログラム(授業)が終わった後、意識を持ち続けることができるかどうか。
- ・環境教育を実施する上で、教職における知識・技術(教育の概念・方法論・指導法など)はどの程度必要なのか。

